

2021年3月15日

#### 1 再検討の求めに至る経緯

視聴者より、

『クローズアップ現代+』に関して、2019年2月6日、木田専務理事が日本郵政を訪問し鈴木上級副社長に説明した資料及びメモなどの記録および面会の説明や報告等が記録された情報。NHK内部にて面会内容の説明もしくは報告したことなどが記録された情報」に係る文書の開示の求めがあった。

この求めに対してNHKは、求めの文書は存在しないため、開示することができないとした。

これに対して、視聴者から再検討の求めがあった。

#### 2 NHKの見解の要旨

2019年2月の日本郵政グループ訪問の際、説明にあたって資料等は作成することなく、すべて口頭で行った。また、訪問に係る報告の記録も存在しない。

開示の求めの文書は存在しないため、開示することができない。

#### 3 審議委員会の判断

当審議委員会で関係部局から説明を聴取したところ、開示の求めの文書は存在しないとの主張には一定の合理性があり、ほかに文書が存在すると推認させる事情はないため、開示の求めの文書は存在しないとして、不開示としたNHKの取り扱いは妥当である。

#### 4 審議の経過

2021年3月15日（第299回審議委員会）

第831号

諮問、審議、答申